

津久井やまゆり園での事件について（声明）

7月26日未明に発生した凄惨な事件の報に接し、知的障害、発達障害のある当事者とその家族および支援者の団体である私たちは、大きな悲しみと憤りを禁じえません。亡くなられた方々に対し衷心よりご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、怪我をされ治療を受けている方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

この事件の異常性から、容疑者の心理的背景や行動の詳細に関心が集まっています。障害のある人々の命と人生を抹殺することに何の疑問も持たない非常に歪んだ認識は、断じて許すことはできません。けれども容疑者個人を糾弾し、措置入院や施設の警備を強化することだけでは、何ら解決にはならないでしょう。

この人権無視の認識がどのようにして生まれ、この異常な行動に至ったのかを考えると、それは決して容疑者本人の中だけで芽生え醸成されたものではなく、どこにおいても誰の中にも生じうるものではないかと気づかされるのです。幼い時から様々な場面で一定の価値基準により序列化される競争社会の中で、誰もが差別と排除の意識に囚われる危険性をはらんでいるのではないのでしょうか。

差別と排除の対極は多様性の積極的な肯定です。「みんなちがってみんないい」という、多様な差異と個性を尊重しあえる共生社会、すなわち国連の「障害者権利条約」で提唱されているインクルーシブな社会の構築に向けて、皆で知恵を出し合い、力を合わせていきたいと思えます。

2016年8月1日

公益社団法人 日本発達障害連盟

会長 金子 健

構成団体

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

全国手をつなぐ育成会連合会

全日本特別支援教育研究連盟

日本発達障害学会